

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 原発性肝細胞癌の腫瘍学的定量化可能なバイオマーカーとしての ADV スコアの検証：小型肝細胞癌の切除における予後の影響に関する韓国-日本での多施設共同研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科

【研究責任者】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 助教 坂元克考

【研究代表者】

関西医科大学附属病院 外科 診療教授 海堀昌樹

【研究の目的】

肝細胞癌の切除後の予後への影響に関する国際的な多施設研究として、肝細胞癌の腫瘍学的定量化可能な腫瘍マーカーを用いたスコアを検証する。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 当院における 2013年1月1日から 2016年5月31日の過去 5 年間に於ける肝細胞癌の切除を受けた患者さん

(利用するカルテ情報)：術前データ(年齢、性別、血液データ、FDG-PET 所見、術前門脈塞栓術の有無など)、手術および病理学的データ(手術日、肝切除の範囲、手術の種類(開腹/腹腔鏡)、微小血管浸潤有無、大血管浸潤有無、胆管浸潤有、腫瘍サイズ)、フォローアップデータ(肝癌の再発の有無、生存の有無、患者の死因など)

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CRFは、CD-ROMまたはオンラインで、すべての参加機関から関西医科大学に郵送され、多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵乳腺外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327